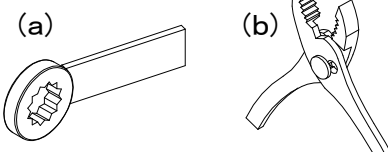


本商品は、チェーンのカット、プレートの圧入及びリベットができる大変便利な工具です。

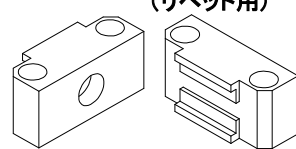
＜必要工具＞

(a)19mm メガネレンチ又はラチェットレンチ
※下記文中はメガネレンチで統一

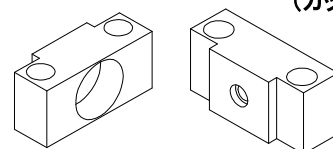


(b)プライヤー（継手プレート仮圧入用）

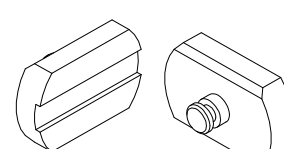
①プレートホルダー(A)
(リベット用)



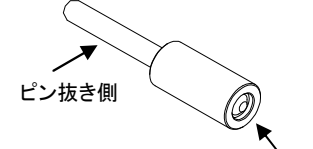
②ガイドプレートホルダー(B)
(カット用)



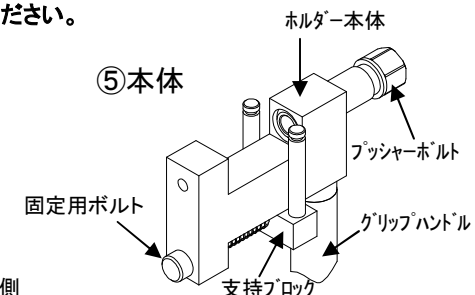
③ガイドプレート



④カット&リベットピン

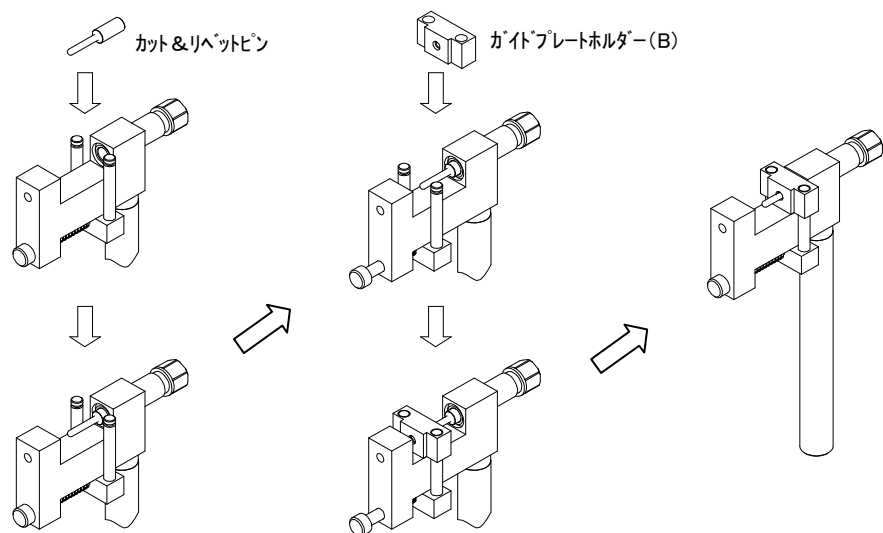


⑤本体

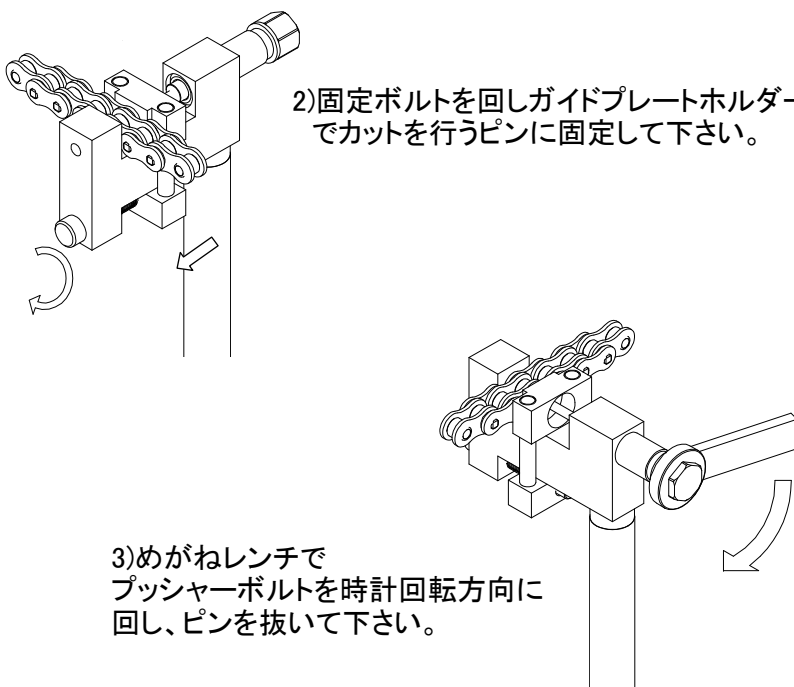


＜チェーンのカット(切断)方法＞

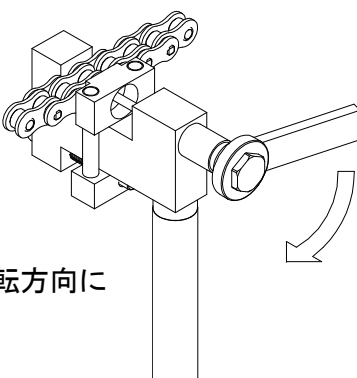
1)カット&リベットピンをプッシャーボルトに取り付けた後、プレートホルダー(B)を支持ブロックに取り付けて下さい。



2)固定ボルトを回しガイドプレートホルダー(B)でカットを行うピンに固定して下さい。

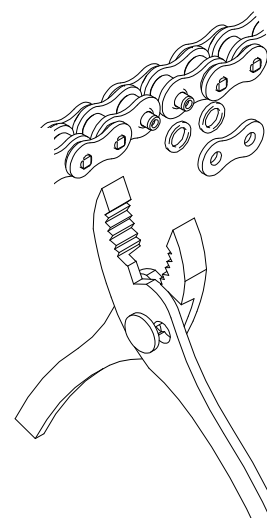


3)めがねレンチでプッシャーボルトを時計回転方向に回し、ピンを抜いて下さい。



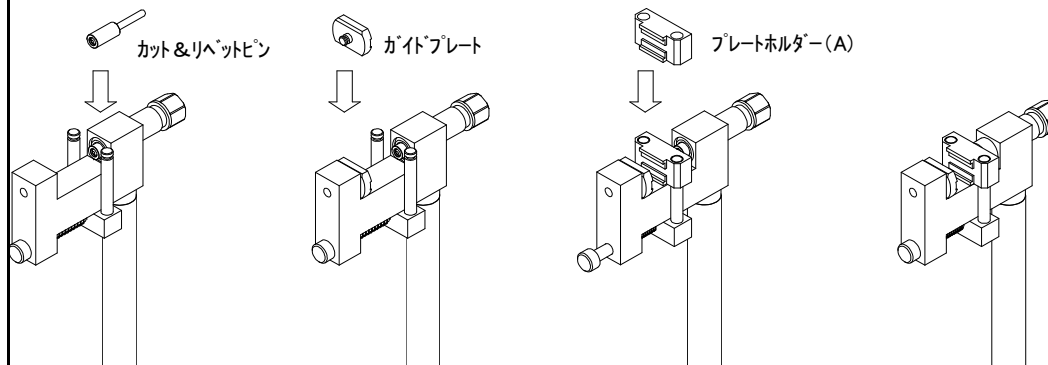
＜継手プレートの圧入方法＞

1)交換したチェーンに継手リンク(MLJ)を装着後継手プレートをプライヤーで圧入し、仮押さえをして下さい。シールチェーンの場合は、シールリングを確実に装着して下さい。

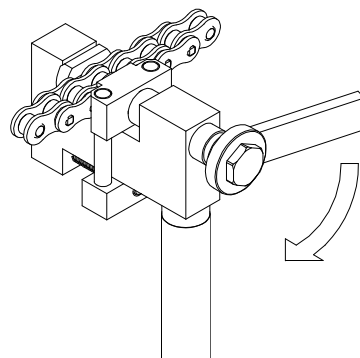


2)カット&リベット用ピンを図と同じ方向にプッシャーボルトへ取付けし本体にガイドプレート、支持ブロックへプレートホルダー(A)を取付けて下さい。

※注)ガイドプレート及びプレートホルダー(A)を本体に取り付ける際、取付面にゴミや砂などが付着なき事ご確認ください、圧入の際にガイドプレート、プレートホルダー(A)の破損に繋がる事があります。

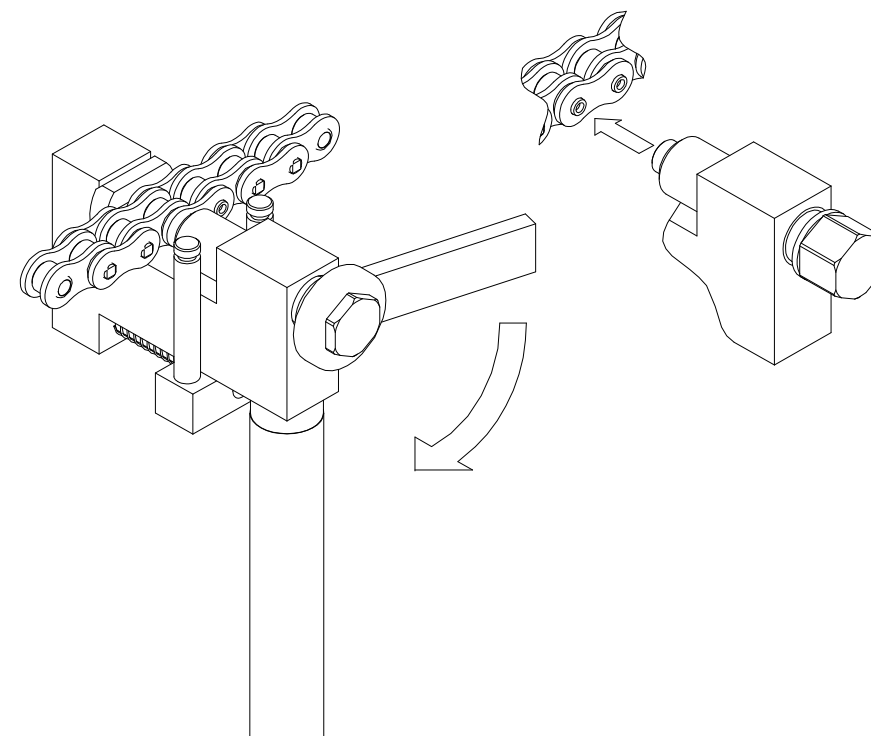
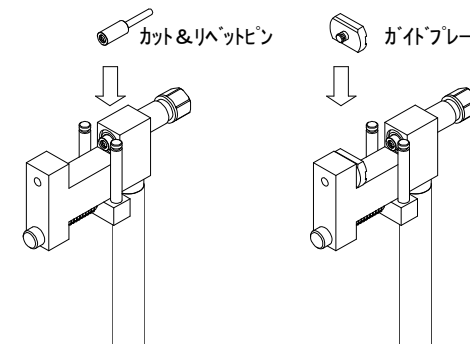


3)ガイドプレートとプレートホルダー(A)に仮押さえをした継手プレートをはめ込み
(※継手ピンをガイドプレート溝にはめてください)
めがねレンチでプレートホルダー(A)の溝にピン先端が接するところまでプッシャーボルトを時計方向に回し継手プレートを圧入して下さい。
圧入後、支持ブロックからプレートホルダー(A)を取り外して下さい。



＜継手ピンのかしめ＞

1)カット&リベットピンをプッシャーボルトに取り付けし本体へガイドプレートを取り付けして下さい。



2)カット&リベット用ピンが継手ピンに接するところまでプッシャーボルトを手で回して下さい。
カシメ作業は、めがねレンチでプッシャーボルトを時計回転方向に回しピンかしめを行って下さい。

※注)カット&リベットピンのリベット方向はカシメ過ぎ防止の形状になっておりますが、強く締めすぎるとリベットピンの破損に繋がる事があります。

⚠ ドライブチェーン(以下チェーン)を交換の際は、交換するモーターサイクル(以下MC)の取扱説明書が推奨するチェーンと同等の性能を有するチェーンとそのジョイントを選択してください。取り付けの際には、MCのメインスイッチをOFFにしエンジンが作動しない状態にして下さい。MCは平坦な場所にスタンドを立てて安定させリアホイールが回転する状態にして下さい。

全ての仕様は正式の通告なく変更する事が御座います、ご了承ください。